

荒川の石を観察してみよう Q

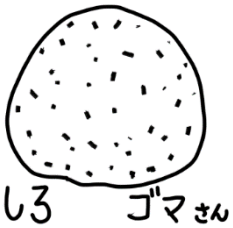
1月号の続きになります

No.4



名前:堆積岩(凝灰岩)
火山灰や火山から吹き飛ばされた石、鉱物が集まってできた石。

No.5



名前:深成岩、花崗岩
火成岩のうち、地下の深いところ(10 kmくらい)でマグマが冷え固まってできた石。今は山の上に出ている。

No.6



名前:堆積岩(泥岩、砂岩、礫岩)
海の底にたまっていた砂や泥が固まってできた石。
粒の大きさによって泥、砂、礫と呼び方が変わる。
(大きさは小さい順に泥→砂→礫)

No.7



名前:堆積岩(チャート)
海に住んでいた小さな生き物が死んで、海の底に沈んだ後、固まってできた石。同じく生き物の死がいでできた石灰岩よりも硬いことが特徴のひとつ。

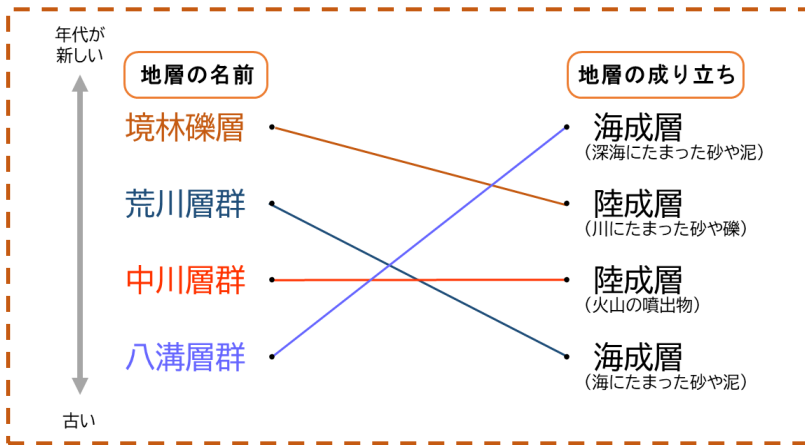
1月号に引き続き、荒川の河原の石について紹介しました。

同じ名前をしている石でも、でき方や形成している粒の大きさなどによって見た目が大きく違ってくるのはとても不思議ですね。ぜひ一度河原にあるさまざまな石を見て、その違いを感じてみてください。

ジオパーククイズ 解答&解説

✓1月号に掲載したジオパーククイズの解答です！

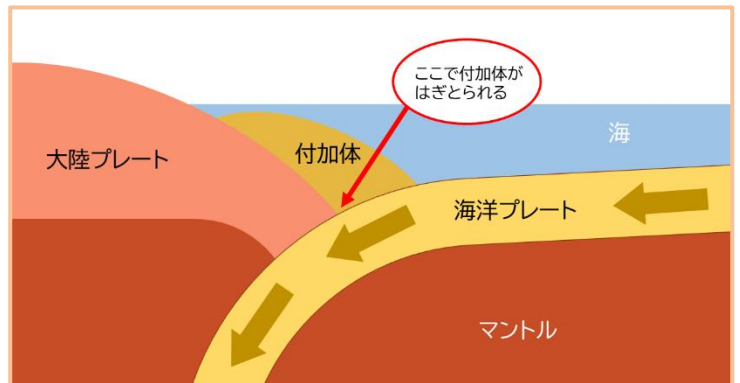
正解↓



解説:名前と成り立ちの組み合わせは左の図のようになります。この地層の並びを見ると、那須烏山地域は、海だった時代と陸の時代を繰り返してきたことがわかります。なかでも八溝層群は「**付加体**」という日本列島の土台となる地層で、年代はおよそ2億5000万年前と言われています。

「付加体」とは？

付加体とは、海洋プレートが大陸プレートに沈み込むときに、大陸側の端に積み重なった海洋プレート上にある泥や砂のことです。この泥や砂などは、固結が進んでいない(まだ固体として固まりきっていない)ため、プレートと一緒に沈み込んでいきません。



編集後記

まだまだ寒さの厳しい日が続いておりますが、皆さんはいかがお過ごしでしょうか。

いよいよ2月になり、令和3年度の終わりに近づいてきましたね。来年度こそは新型コロナも落ち着き、ジオパーク構想事業が無事実施できるといいのですが…◎来年度の準備を進めながら、そんなことを祈るばかりです。

コロナの影響でつつい暗くなりがちですが、いいニュースもありました。なんと2月1日に放送された連続ドラマ「#居酒屋新幹線」にて、那須烏山市が取り上げられていたみたいです！こうして那須烏山の魅力が知られることができるのは嬉しいものです◎いつか「ジオパークで那須烏山を知りました！」と言ってもらえるように、那須烏山ジオパーク構想の活動も広めていきたいですね！

HP、Instagramにて
情報更新中！



ジオパーク構想 HP



文化財グループ Instagram

月刊ジオパークニュース 2月号 / 2月21日 発行 ~五感で楽しむ那須烏山~

連絡先: 那須烏山ジオパーク構想推進協議会事務局 (那須烏山市生涯学習課文化財グループ内)

TEL: 0287-88-6223 mail: shohgaigakushu@city.nasukarasuyama.lg.jp